

東京都中央区「武蔵野中央公園 紙飛行機を飛ばす会連合会」

日本紙飛行機協会会長：二宮康明

1) 東日本大震災によって、活動に何か影響がありましたか？

私どもが、サントリー文化財団から表彰いただきましたのは、東京都武蔵野中央公園における「紙飛行機を飛ばす会」の運営に対するものでした。現在では「日本紙飛行機協会」として全国的な組織で活動しております。すなわち協会主催で日本全国で紙飛行機競技会を行なっております。今年は第17回で11月5、6日に決勝大会が開かれますが、それに先だって4月3日～9月11日にわたり全国約30ヶ所で予選が行なわれます。今回の被災地の中に岩手、宮城、福島の会場が含まれており、福島は競技予定地の公演が冠水いるため10月に特別ルールで実施することにしましたが、他は大きな支障はなく予定通り進めることになっております。

2) 震災地域への支援について、既に行なったことや今後の予定、やりたいことなどがありましたら、お書きください。

被災地の子供さんたちに楽しんでもらうために、日本紙飛行機協会から現地の会員などに紙飛行機キットを送って飛ばす会を実施している。

- ・ 陸前高田市での紙飛行機教室→別紙参照
- ・ 仙台では5月22日の予選会の際に、子供さんたちを対象にした教室を予定している。

3) 被災地域で文化活動に関わる方へメッセージがありましたらお寄せください。

皆さん、それぞれ得意分野をお持ちだと思いますので、それを役立てて社会に貢献することが一番効率が良いと思います。がんばりましょう。